

皮運 01 : オリエンテーション、皮膚の構造と機能

日時 : 4 月 10 日 (水) 4 時限

担当者 : 中村 晃一郎(皮膚科)

内容 :

1. ★D-3-1-1 皮膚の組織構造を図示して説明できる。
2. ★D-3-1-2 皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。
3. ★D-3-1-3 皮膚の免疫防御能を説明できる。
4. 発汗、皮脂、毛周期、経皮吸収の機能、機序を概説できる。

キーワード :

ユニット :

表皮, 基底膜, 真皮, 皮下組織, 付属器, 角化, ケラチノサイト (角化細胞), 免疫, Langerhans 細胞, メラニン, メラノサイト (色素細胞), 発汗, 毛周期, 経皮吸収

★コアカリ :

皮膚の組織構造、細胞動態、角化、免疫防御能

国試出題基準 :

表皮、真皮、付属器、脈管、神経、皮下組織、角化、メラニン生成、免疫機能、Langerhans 細胞、細胞間接着、基底膜、肥満細胞、細胞間脂質、結合組織の代謝、発汗、皮脂、毛周期、経皮吸収

教科書 :

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版 (中山書店) p1-p38

予習 :

あたらしい皮膚科学(第 3 版)p1-p38 キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (30 分)

皮運 02 : 皮膚科診断学, 症候学

日時 : 4 月 10 日 (水) 5 時限

担当者 : 常深 祐一郎(皮膚科)

内容 :

1. ★D-3-3-1 発疹の種類を列挙し、それぞれの特徴と病態を説明できる。
2. 皮膚病変を的確に記載できる。
3. ★D-3-2-1 皮膚検査法 (硝子圧法、皮膚描記法、Darier 徴候、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト) を概説できる。
4. ★D-3-2-2 皮膚アレルギー検査法 (プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト) を説明できる。
5. ★D-3-2-3 微生物検査法 (検体採取法、苛性カリ < KOH > 直接鏡検法) を概説できる。

キーワード :

ユニット :

斑 (紅斑/紫斑/白斑/色素斑), 膨疹, 丘疹/結節/腫瘤, 水疱/膿疱, びらん/潰瘍, 鱗屑/痂皮, 硬化/萎縮, 硝子圧法, 皮膚描記法, 皮内試験, 貼布試験, 内服試験, MED, ダーモスコピー

★コアカリ :

発疹、病態、症状、皮膚アレルギー検査法 (プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト)、皮膚検査法 (硝子圧法、皮膚描記法、Darier 徴候、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト)、微生物検査法 (検体採取法、苛性カリ < KOH > 直接鏡検法)、ダーモスコピー

国試出題基準 :

紅斑、紅皮症、紫斑、出血斑、色素斑、色素異常、丘疹、結節、腫瘤、水疱、膿疱、囊腫、膨疹、びらん、潰瘍、毛細血管拡張 < telangiectasia >、硬化、瘢痕、萎縮、鱗屑、痂皮、苔癬化、壊疽、アフタ、プリックテスト、皮内テスト、針反応、パッチテスト、光パッチテスト、光線テスト、薬剤リンパ

球刺激試験<DLST>、皮膚温測定法、サーモグラフィ、Tzanck 試験、Nikolsky 現象、ダーモスコピー、苛性カリ<KOH>直接鏡検法、皮膚描記法、Darier 徴候、硝子圧法、発汗テスト

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版（中山書店）p52-p88

予習：

あたらしい皮膚科学(第 3 版) p52-p88 キーワードについて調べる（30 分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30 分）

皮運 03：全身と皮膚

日時：4 月 18 日（木） 3 時限

担当者：竹治 真明(皮膚科)

内容：

デルマドロームについて理解する。

1. 内臓悪性腫瘍のデルマドロームを挙げて、説明できる。
2. 糖尿病のデルマドロームを挙げて、説明できる。
3. 妊娠に関連した皮膚症状を挙げて、説明できる。
4. 消化器疾患のデルマドロームを挙げて、説明できる。

キーワード：

ユニット：

デルマドローム、悪性黒色表皮腫、Leser-Trélat 徴候、環状紅斑、紅皮症、皮膚筋炎、糖尿病性壊疽、糖尿病性浮腫性硬化症、妊娠線（線状皮膚萎縮）、妊娠性類天疱瘡（妊娠性疱疹）、妊娠性痒疹、亜鉛欠乏症候群（腸性肢端皮膚炎）、壊疽性膿皮症

★コアカリ：

悪性腫瘍、環状紅斑、紅皮症、皮膚筋炎、糖尿病、妊娠

国試出題基準：

デルマドローム、Leser-Trélat 徴候、環状紅斑、紅皮症、皮膚筋炎、糖尿病性足病変、糖尿病性浮腫性硬化症、妊娠、亜鉛欠乏症候群、壊疽性膿皮症

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版（中山書店）p136-p137、p145-p150、p176-p178、p205-p208、p258-p259、p323-p324、p332-p333、p406

予習：

あたらしい皮膚科学(第 3 版) でキーワードについて調べる（30 分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30 分）

皮運 04：皮膚腫瘍（上皮系腫瘍）

日時：4 月 19 日（金） 1 時限

担当者：清原 祥夫(皮膚科)

内容：

皮膚上皮系腫瘍を学び、代表的な皮膚上皮系腫瘍の特徴を理解する。

1. ★D-3-4-8-2 皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。
2. ★D-3-4-8-5 有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
3. 基底細胞癌について説明できる。

4. ★D-3-4-8-4 基底細胞上皮腫(癌)の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。

キーワード：

ユニット：

脂漏性角化症、表皮嚢腫、Leser-Trélat 徴候、ケラトアkantoma、Paget 病、日光角化症、Bowen 病、有棘細胞癌、基底細胞癌、ダーモスコピー

★コアカリ：

皮膚良性腫瘍、前癌状態、皮膚悪性腫瘍、有棘細胞癌、基底細胞癌、ダーモスコピー

国試出題基準：

脂漏性角化症、Leser-Trélat 徴候、粉瘤、ケラトアkantoma、乳房外 Paget 病、日光角化症<老人性角化症>、Bowen 病、有棘細胞癌、基底細胞癌、ダーモスコピー

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版 (中山書店) p406-p419、p444-p459

予習：

あたらしい皮膚科学(第 3 版) p406-p419、p444-p459 キーワードについて調べる (20 分)

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (20 分)

皮運 05：湿疹・皮膚炎群，蕁麻疹

日時：4 月 19 日 (金) 2 時限

担当者：高村 さおり(総セ 皮膚科)

内容：

1. ★D-3-4-1-1 湿疹反応を説明できる。
2. ★D-3-4-1-2 湿疹・皮膚炎の疾患(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎、うつ滞性皮膚炎)を列挙し、概説できる。
3. ★D-3-4-2-1 蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。
4. 血管性浮腫について病態、診断と治療を概説できる。
5. ★D-3-4-2-3 皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。
6. 副腎皮質ステロイド薬外用法を理解する。
7. 紅皮症の原因疾患を述べるができる。

キーワード：

ユニット：

湿疹，湿疹・皮膚炎群，接触皮膚炎，アトピー性皮膚炎，脂漏性皮膚炎，貼布試験，副腎皮質ステロイド外用薬，痒疹，紅皮症，皮膚そう痒症，蕁麻疹

★コアカリ：

湿疹反応，湿疹・皮膚炎の疾患，接触皮膚炎，アトピー性皮膚炎，脂漏性皮膚炎，貨幣状湿疹，皮脂欠乏性湿疹，自家感作性皮膚炎，紅皮症，皮膚そう痒症，蕁麻疹

国試出題基準：

アトピー性皮膚炎、Kaposi 水痘様発疹症、接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、うつ滞性皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹、痒疹、色素性痒疹、紅皮症、皮膚そう痒症、蕁麻疹、血管性浮腫、Quincke 浮腫、C1 インヒビター欠損症、副腎皮質ステロイド及び非ステロイド性抗炎症薬<NSAID>

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版 (中山書店) p114-p138、p147-p150

参考書：

◆ 皮膚科臨床アセット (中山書店) ①アトピー性皮膚炎、⑩蕁麻疹・血管性浮腫

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p114-p138、p147-p150 キーワードについて調べる (30分)

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (30分)

皮運 06：光線性皮膚疾患（含レーザー療法）、物理化学的皮膚障害（熱傷、凍傷）

日時：4月19日（金） 5時限

担当者：宮野 恭平(皮膚科)

内容：

1. 物理化学的皮膚障害を発生原因によって分類し各々の特徴、治療について理解する。
2. 光線皮膚障害を分類し各々の特徴を理解する。
3. 光発癌について述べるができる。
4. レーザー療法の実際を紹介する。

キーワード：

ユニット：

熱傷、低温熱傷、化学熱傷、凍傷、放射線皮膚炎、機械的・職業的皮膚障害、光線過敏症、紫外線、ポルフィリン症、日光蕁麻疹、多形日光疹、光線過敏型薬疹、色素性乾皮症、日光角化症、レーザー療法、色素斑、血管腫

★コアカリ：

熱傷、寒冷による障害、放射線障害、光線テスト、ポルフィリン

国試出題基準：

熱傷、凍傷、電撃傷、褥瘡、光線過敏、光線過敏症、光線テスト、紫外線、ポルフィリン症、慢性光線性皮膚炎、ペラグラ、色素性乾皮症、日光角化症、レーザー療法、色素斑、血管腫

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p219-p236、p327-p331

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p219-p236、p327-p331 キーワードについて調べる (30分)

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (30分)

皮運 07：紅斑症・紫斑病、薬疹

日時：4月22日（月） 3時限

担当者：人見 勝博(総セ 皮膚科)

内容：

1. 紅斑と紫斑の定義、および両者の鑑別について説明できる。
2. ★D-3-4-2-2 多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。
3. Sweet 病、壊疽性膿皮症について病態、診断と治療を概説できる。
4. ★D-3-4-3-1 皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。
5. 血栓性静脈炎について病態、診断と治療を概説できる。
6. ★D-3-4-4-1 薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。
7. ★D-3-4-4-2 薬疹を起こしやすい主な薬物を列举できる。
8. Stevens-Johnson 症候群、中毒性表皮壊死症＜toxic epidermal necrolysis＞、薬剤性過敏症症候群＜drug-induced hypersensitivity syndrome＞について病態、診断と治療を概説できる。

キーワード：

ユニット：

紅斑，紫斑，多形滲出性紅斑，結節性紅斑，Sweet 病，Behçet 病，環状紅斑，IgA 血管炎，病理組織，貼布試験，再投与試験，固定薬疹，播種状紅斑丘疹型薬疹，多型紅斑型薬疹，中毒性表皮壊死症（TEN），Stevens-Johnson 症候群，薬剤性過敏症症候群（DIHS）

★コアカリ：

多形滲出性紅斑、環状紅斑、皮膚血流障害、血管炎、薬疹、薬物障害

国試出題基準：

多形滲出性紅斑、結節性紅斑、硬結性紅斑、環状紅斑、Sweet 病、Behçet 病、網状皮斑（リベド）、血栓性静脈炎、IgA 血管炎＜Henoch-Schönlein 紫斑病＞、固定薬疹、Stevens-Johnson 症候群、中毒性表皮壊死症＜toxic epidermal necrolysis＞、薬剤性過敏症症候群＜drug-induced hypersensitivity syndrome＞

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版（中山書店）p139-p147、 p151-p162、 p163-190、 p354-356

予習：

あたらしい皮膚科学(第 3 版) p139-p147、 p151-p162、 p163-190、 p354-356 キーワードについて調べる（30 分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30 分）

皮運 08：水疱症、膿疱症

日時：4 月 23 日（火） 1 時限

担当者：福田 知雄(総セ 皮膚科)

内容：

1. 表皮・真皮における細胞接着の仕組みについて説明できる。
2. ★D-3-4-5-3 水疱症を列挙し、鑑別のための検査法を説明できる。
3. ★D-3-4-5-1 自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。
4. ★D-3-4-5-2 膿疱症の種類と病態を説明できる。
5. 無菌性膿疱の概念について説明できる。
6. 掌蹠膿疱症、急性汎発性膿疱性細菌疹、角層下膿疱症について説明できる。

キーワード：

ユニット：

細胞間橋，デスモゾーム，半デスモゾーム（ヘミデスモゾーム），基底板，棘融解，Nikolsky 現象，蛍光抗体法，表皮内水疱，表皮下水疱，白血球遊走，病巣感染，白血球機能

★コアカリ：

水疱症鑑別、自己免疫性水疱症、膿疱症

国試出題基準：

細胞間接着、先天性表皮水疱症、天疱瘡、Nikolsky 現象、水疱性類天疱瘡、疱疹状皮膚炎、後天性表皮水疱症、膿疱性乾癬、掌蹠膿疱症

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版（中山書店）p237-p267

予習：

あたらしい皮膚科学(第 3 版) p237-p267 キーワードについて調べる（30 分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30 分）

皮運 09 : 角化症、皮膚付属器疾患

日時 : 4 月 23 日 (火) 2 時限

担当者 : 常深 祐一郎(皮膚科)

内容 :

1. 角化の機序について、形態学的変化・生化学的变化を含めて説明できる。
2. 異常な角化について説明できる。
3. ★D-3-4-6-2 魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。
4. 掌蹠角化症、Darier 病、汗孔角化症の病態と治療を概説できる。
5. ★D-3-4-6-1 尋常性乾癬、扁平苔癬と Gibert ばら色秕糠疹の病態、症候と治療を説明できる。
6. 黒色表皮腫や後天性魚鱗癬などのデルマトロームについて説明できる。
7. 皮膚付属器疾患、皮膚付属器（毛、脂腺、汗腺、爪）の構造と機能について説明できる。
8. ★D-3-4-9-1 毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。
9. ★D-3-4-9-2 爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。

キーワード :

ユニット :

角化の定義（形態学的角化，生化学的角化），角化に影響を与える因子，異常角化，魚鱗癬，Darier 病，汗孔角化症，乾癬，類乾癬，扁平苔癬，Gibert ばら色秕糠疹，黒色表皮腫，先天性魚鱗癬，毛，脂腺，汗腺，爪，痤瘡，脱毛症，爪甲異常

★コアカリ :

魚鱗癬、尋常性乾癬、扁平苔癬、Gibert 薔薇色秕糠疹、毛の疾患、爪の疾患

国試出題基準 :

魚鱗癬、掌蹠角化症、Darier 病、汗孔角化症、乾癬、Auspitz 現象、Köbner 現象、類乾癬、扁平苔癬、Gibert ばら色秕糠疹、発汗、皮脂、汗疹、多汗症、無汗症、尋常性痤瘡、酒さ様皮膚炎、脱毛、円形脱毛症、男性型脱毛症、抜毛症、爪の異常、匙状爪

教科書 :

◆ あたらしい皮膚科学 第 3 版（中山書店）p268-p301、p360-p375

予習 :

あたらしい皮膚科学(第 3 版) p268-p301、p360-p375 キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (30 分)

皮運 10 : 色素異常症

日時 : 4 月 25 日 (木) 1 時限

担当者 : 中村 泰大(国セ 皮膚科)

内容 :

色素異常を呈する疾患の基礎・臨床について理解する

1. メラノサイト，メラニン，メラニン生成機転，皮膚メラニン機構について説明できる。
2. 代表的な色素脱失症の病態・臨床像・診断・治療について説明できる。
3. 代表的な色素増加症の病態・臨床像・診断・治療について説明できる。
4. メラニン以外の生体内色素及び生体外原因物質について説明できる。

キーワード :

ユニット :

メラニン(melanin)，メラノサイト(melanocyte)，メラノソーム(melanosome)，メラニン生成，皮膚メラニン機構，尋常性白斑(vitiligo vulgaris)，眼皮膚白皮症(oculocutaneous albinism)，Sutton 母斑(Sutton nevus)，雀卵斑(ephelides)，肝斑(chloasma)，老人性色素斑 (senile pigment freckle)，Addison 病 (Addison's disease)，柑皮症(carotenosis)

★コアカリ：

皮膚の細胞動態

国試出題基準：

メラニン生成、色素異常症、尋常性白斑

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p302-p314

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p302-p314 キーワードについて調べる（20分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20分）

皮運 11：母斑・母斑症

日時：4月26日（金） 5時限

担当者：宮野 恭平(皮膚科)

内容：

代表的な母斑・母斑症の基礎と臨床を学ぶ。

1. ★D-3-4-8-1 母斑・母斑症の種類を列举できる。
2. 脂腺母斑、表皮母斑、色素性母斑、太田母斑について説明できる。
3. 毛細血管奇形＜単純性血管腫＞、乳児血管腫＜イチゴ状血管腫＞、Kasabach-Merritt 症候群について病態、診断と治療を概説できる。
4. 神経線維腫症、結節性硬化症、Sturge-Weber 症候群について病態、診断と治療を概説できる。

キーワード：

ユニット：

脂腺母斑、表皮母斑、色素性母斑、太田母斑、毛細血管奇形（単純性血管腫）、乳児血管腫（イチゴ状血管腫）、Kasabach-Merritt 症候群、静脈奇形（海綿状血管腫）、リンパ管腫、神経線維腫症 1 型（von Recklinghausen 病）、結節性硬化症（Pringle 病）、Sturge-Weber 症候群、色素失調症、神経皮膚黒色症、McCune-Albright 症候群

★コアカリ：

母斑・母斑症

国試出題基準：

脂腺母斑、表皮母斑、色素性母斑、太田母斑、毛細血管奇形＜単純性血管＞、幼児血管腫＜イチゴ状血管腫＞、Kasabach-Merritt 症候群、静脈奇形＜海綿状血管腫＞、リンパ管腫、神経線維腫症 1 型＜von Recklinghausen 病＞、café-au-lait 斑、結節性硬化症、Sturge-Weber 症候群、McCune-Albright 症候群

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p376-p405、p421-p431

参考書：

◆ 皮膚科臨床アセット⑮ 母斑と母斑症（中山書店）

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p376-p405、p421-p431 キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30分）

皮運 12：細菌性皮膚疾患（含抗酸菌感染症）、肉芽腫症

日時：4月26日（金） 6時限

担当者：宮野 恭平(皮膚科)

内容：

1. 皮膚付属器との関係、病変の深さなどを考慮の上、系統的に分類できる。
2. ★D-3-4-7-1 皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる
3. 蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、ひょう疽、伝染性膿痂疹について病因、診断と治療を概説できる。
4. 壊死性筋膜炎、ガス壊疽について病因、診断と治療を概説できる。
5. ★D-3-4-7-3 皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。
6. 肉芽腫症の概念について説明できる。サルコイドーシスについて説明できる。

キーワード：

ユニット：

毛包炎、せつ、伝染性膿痂疹、丹毒、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、皮膚結核、Hansen 病、サルコイドーシス、類上皮細胞肉芽腫

★コアカリ：

皮膚細菌感染症、伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、皮膚結核病、サルコイドーシス

国試出題基準：

せつ、癰、蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、ひょう疽、丹毒、伝染性膿痂疹、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、壊死性筋膜炎、劇症型A群 β 溶連菌感染症、Vibrio vulnificus、ガス壊疽、尋常性狼瘡、皮膚腺病、硬結性紅斑、非結核性抗酸菌症、Hansen 病、環状肉芽腫、サルコイドーシス

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p344-350、 p514-p531、 p546-p555

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版)を用いてキーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30分）

皮運 13：ウイルス性皮膚疾患

日時：4月30日（火） 1時限

担当者：福田 知雄(総セ 皮膚科)

内容：

ウイルスが原因の代表的皮膚疾患の病態と臨床を理解する。

1. ウイルスの種類と、それに関連した皮膚疾患について説明できる。
2. ★D-3-4-7-5 皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、带状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。
3. ヒト乳頭腫ウイルス感染症について説明できる。

キーワード：

ユニット：

皮膚の感染防御機構、DNA ウイルス、RNA ウイルス、単純ヘルペス、水疱、带状疱疹、ヒト乳頭腫ウイルス感染症、伝染性軟属腫、手足口病、Gianotti-Crosti 症候群、伝染性紅斑、麻疹、風疹、後天性免疫不全症候群

★コアカリ：

皮膚ウイルス感染症、単純ヘルペス、带状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘、後天性免疫不全症候群＜AIDS＞に伴う皮膚症状、ヒトパピローマウイルスによる疾患、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、伝染性単核（球）症

国試出題基準：

麻疹、風疹、突発性発疹、手足口病、単純ヘルペスウイルス感染症、水痘・带状疱疹、Epstein-Barr < EB > ウイルス感染症、パルボウイルス B19 感染症（伝染性紅斑）、ヒトパピローマウイルス < HPV > 感

染症（尖圭コンジローマ、尋常性疣贅）、伝染性軟属腫、ヒト免疫不全ウイルス＜HIV＞感染症、後天性免疫不全症候群＜AIDS＞

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p487-p513

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p487-p513 キーワードについて調べる、基礎医学で学んだウイルス学を簡単に復習しておく（30分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30分）

皮運 14：皮膚腫瘍（間葉系，メラノサイト系腫瘍）

日時：5月2日（木） 1時限

担当者：中村 泰大(国セ 皮膚科)

内容：

1. 間葉系良性腫瘍・悪性腫瘍にはどのような疾患があるか説明できる。
2. ★D-3-4-8-6 悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
3. ★D-3-4-8-3 皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。

キーワード：

ユニット：

隆起性皮膚線維肉腫，血管肉腫，悪性黒色腫（メラノーマ），色素性母斑，菌状息肉症，ダーモスコピー

★コアカリ：

皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、悪性黒色腫、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫

国試出題基準：

皮膚線維腫、ケロイド、毛細血管拡張性肉芽腫、グロムス腫瘍、色素性蕁麻疹、色素性母斑、血管肉腫、Kaposi 肉腫、菌状息肉症、Sézary 症候群、悪性黒色腫、ダーモスコピー

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p420-p443、p459-486

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p420-p443、p459-486 キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30分）

皮運 15：皮膚真菌症

日時：5月7日（火） 1時限

担当者：常深 祐一郎(皮膚科)

内容：

1. ★D-3-4-7-2 皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型、治療法を説明できる。
2. 癬風、スポロトリコーシスについて概説できる。

キーワード：

ユニット：

白癬，カンジダ症，癬風，紅色陰癬，放線菌症，ノカルジア症，クリプトコッカス症，スポロトリコーシス，クロモミコーシス，アスペルギルス症，爪真菌症

★コアカリ：

皮膚真菌症、表在性、深在性

国試出題基準：

白癬、カンジダ症、Celsus 禿瘡、癩風、スボロトリコーシス

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p532-p545

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p532-p545 キーワードについて調べる（20分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20分）

皮運 16：性感染症，動物性皮膚疾患

日時：5月9日（木） 1 時限

担当者：鈴木 正(皮膚科)

内容：

1. 性行為感染症とはどのようなものか説明できる。
2. ★D-3-4-7-4 梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。
3. ★D-3-4-7-6 後天性免疫不全症候群＜AIDS＞に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。
4. 疥癬について診断と治療を概説できる。
5. 動物性皮膚疾患について説明できる。

キーワード：

ユニット：

梅毒、尖圭コンジローマ、性器ヘルペス、HIV 感染症、疥癬、線状皮膚炎、昆虫アレルギー、Creeping 病、ライム病、ツツガムシ病

★コアカリ：

性行為感染症、梅毒、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒト免疫不全ウイルス＜HIV＞感染症、疥癬

国試出題基準：

性感染症＜STD、STI＞、梅毒、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒト免疫不全ウイルス＜HIV＞感染症、疥癬、ツツガムシ病

教科書：

◆ あたらしい皮膚科学 第3版（中山書店）p556-p572

予習：

あたらしい皮膚科学(第3版) p556-p572 キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容を A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（30分）

皮運 17：＜病理＞皮膚

日時：5月9日（木） 2 時限

担当者：小路口 奈帆子(国セ 病理診断科)

内容：

皮膚炎症性疾患の病理学的見方を説明でき、代表的皮膚腫瘍性疾患の組織像を説明できる。

1. 主要な表層性炎症性皮膚疾患の病理像を説明できる。
2. 主要な肉芽腫性皮膚疾患の病理像を説明できる。
3. 血管病変を示す主要な皮膚疾患の病理像を説明できる。
4. 脂肪織炎示す主要な皮膚疾患の病理像を説明できる。
5. 代表的上皮性腫瘍の病理像を説明できる。
6. メラノサイト系腫瘍の病理像を説明できる。

7. 菌状息肉症の病理像を説明できる。
8. ★3-4-8-4 基底細胞上皮腫(癌)の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
9. ★3-4-8-5 有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
10. ★3-4-8-6 悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。

キーワード：

国試出題基準：

国試出題基準：多形浸出性紅斑（erythema multiforme）、扁平苔癬（lichen planus）、尋常性乾癬（psoriasis vulgaris）、全身性紅斑性狼瘡（systemic lupus erythematosus、SLE）、サルコイドーシス（sarcoidosis）、結節性紅斑（erythema nodosum、EN）、基底細胞癌（基底細胞癌、BCC）、扁平上皮癌（squamous cell carcinoma、SCC）、悪性黒色腫（malignant melanoma、MM）、菌状息肉症（mycosis fungoides、MF）

参考書：

◆ 標準病理学第6版（医学書院）第25章皮膚・感覚器

予習：

予習：キーワードについて調べる（30分）

復習：

復習：授業で指摘した重要点について、配布プリントで復習する（30分）

皮運18：整形外科総論（骨・関節の構造と機能、診断）

日時：5月13日（月） 1時限

担当者：門野 夕峰（整形外科・脊椎外科）

内容：

整形外科の扱う臓器と機能について総合的に知る。

1. ★D-4-1-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。
2. ★D-4-1-6 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。

キーワード：

ユニット：

ユニット：運動器疾患

国試出題基準：

国試出題基準：コラーゲン、プロテオグリカン、ハイドロキシアパタイト、骨膜、骨皮質、海綿骨、骨髓、骨端、骨端、軟骨、骨幹端、骨幹、Havers管、osteon、Volkmann管、骨芽細胞、骨細胞、破骨細胞、活性型ビタミンD、関節軟骨、関節包、滑膜、関節液、ヒアルロン酸

教科書：

◆ 標準整形外科学第14版 p1-p82、p92-p129

予習：

予習：キーワードについて調べる（30分）

復習：

復習：骨・関節の構造と機能、診断についてA4半ページから1ページ以内でまとめる（20分）

皮運19：退行性関節疾患1（股関節）

日時：5月14日（火） 3時限

担当者：渡會 恵介（整形外科・脊椎外科）

内容：

股関節疾患について知る。

1. ★D-4-1-4 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配、関節を説明できる。
2. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。
3. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。
4. ★D-4-3-2 関節痛・関節腫脹をきたす疾患について説明できる。
5. ★D-4-4-1-6 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。
6. ★D-4-4-1-7 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。

キーワード：

ユニット：

★コアカリ：運動器疾患、リハビリテーション、関節痛・関節腫脹

国試出題基準：

国試出題基準：関節軟骨、股関節、変形性股関節症、関節拘縮、関節動揺性、関節不安定性、関節痛、関節腫脹、関節破壊、関節変形、人工股関節全置換術、骨盤骨きり術、大腿骨骨きり術、寛骨臼形成不全、大腿骨頭壊死症、大腿骨寛骨臼インピンジメント、急速破壊型股関節症、Trendelenburg 徴候

教科書：

◆ 標準整形外科学第 14 版 p590-646

予習：

予習：キーワードについて調べる（30 分）

復習：

復習：退行性関節疾患 2 について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 20：上肢の外傷 1（肩関節）

日時：5 月 16 日（木） 1 時限

担当者：坂口 勝信（整形外科・脊椎外科）

内容：

外傷および肩疾患について総合的に知る。

1. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。
2. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。
3. ★D-4-4-1-1 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。
4. ★D-4-4-1-2 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。
5. ★D-4-4-1-3 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。
6. ★D-4-4-1-5 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。
7. ★D-4-4-1-6 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。
8. ★D-4-4-1-15 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。

キーワード：

ユニット：

★コアカリ：運動器疾患、リハビリテーション、関節痛・関節腫脹

国試出題基準：

国試出題基準：関節脱臼、皮下骨折、開放骨折、golden hour、疲労骨折、病的骨折、Malgaigne の圧痛点、5 P、脂肪塞栓、若木骨折、骨端離開、外傷性肩関節脱臼、反復性脱臼、上腕骨近位端骨折関節、胸郭出口症候群、肩関節周囲炎、腱板断裂

教科書：

◆ 標準整形外科学第 13 版 p426-p450、p720-p771

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：上肢の外傷 1 について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 21：スポーツ整形外科

日時：5 月 16 日（木） 2 時限

担当者：坂口 勝信（整形外科・脊椎外科）

内容：

代表的なスポーツ外傷について知る。

1. スポーツ外傷と障害における予防と治療法について概説できる。
2. 小児のスポーツ障害について概説できる。
3. 膝半月板損傷の受傷原因、臨床および画像所見、治療法について説明できる。
4. 膝靭帯損傷の分類、受傷機序、所見、画像診断、治療法について説明できる。
5. 足関節捻挫と靭帯損傷における受傷機序、臨床所見、画像診断について説明できる。
6. 疲労骨折の原因、症候、診断、治療について説明できる。
7. 筋腱損傷の病態、診断、治療を説明できる。

キーワード：

ユニット：

運動器疾患

国試出題基準：

筋力訓練、野球肘、脛骨疲労骨折、アキレス腱断裂、Thompson テスト、半月板損傷、McMurray テスト、前十字靭帯損傷、引き出し症状、Osgood-Schlatter 病、足関節捻挫・靭帯損傷、離断性骨軟骨炎

教科書：

◆ 標準整形外科学第 14 版

予習：

1. 野球肘および離断性骨軟骨炎（第 14 版 p457～458） 2. 膝半月損傷および前十字靭帯損傷（第 14 版 p663～668）について調べる（20 分）

復習：

1. 肘離断性骨軟骨炎の分類、レントゲン所見および治療法、2. 膝前十字靭帯損傷 について A4 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 22：退行性関節疾患 2（膝関節）

日時：5 月 17 日（金） 2 時限

担当者：伊澤 直広（整形外科・脊椎外科）

内容：

退行性関節疾患について総合的に知る。

1. ★D-4-1-4 軟骨組織の組成および構造について理解する。
2. ★D-4-2-1 変形性関節症の分類を理解する
3. ★D-4-2-2 関節疾患の画像（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞）所見から状態を説明できる。
4. ★D-4-3-2 関節痛・関節腫脹をきたす疾患について説明できる。
5. ★D-4-4-1-6 結晶誘発性疾患を説明できる
6. ★D-4-4-1-7 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。

7. ★D-4-4-1-8 関節液の組成を鑑別診断の手がかりにすることができる。

キーワード：

★コアカリ：

変形性関節症 (osteoarthritis)、結晶誘発性関節炎 (crystal-induced arthritis)、痛風 (gout)、偽痛風 (Pseudogout)、神経病性関節症 (neuropathic arthropathy, Charcot joint)、血友病性関節症 (hemophilic arthropathy)

国試出題基準：

国試出題基準：関節軟骨、膝関節、変形性膝関節症、関節拘縮、関節動揺性、関節不安定性、関節痛、関節腫脹、関節破壊、関節変形、人工膝関節全置換術、脛骨骨きり術

教科書：

◆ 標準整形外科学第 13 版 p267-281、p638-649、p664-677

予習：

予習：上記教科書として記載されたページからキーワードについて調べる (20 分)

復習：

復習：退行性関節疾患 1 について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (20 分)、疾患名が言えるよう暗記する

皮運 23：神経の外傷

日時：5 月 17 日 (金) 3 時限

担当者：伊澤 直広 (整形外科・脊椎外科)

内容：

代表的な神経損傷について知る。

1. ★D-4-1-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。
2. ★D-4-1-4 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。
3. ★D-4-1-7 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。
4. ★D-4-1-8 抗重力筋を説明できる。
5. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査 (四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等) を説明できる。
6. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断 (エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 < CT >、磁気共鳴画像法 < MRI >、超音波検査、骨塩定量) の適応を概説できる。
7. ★D-4-3-1 運動麻痺・筋力低下
8. ★D-4-4-1-1 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。
9. ★D-4-4-1-4 コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。
10. ★D-4-4-1-8 絞扼性末梢神経障害 (手根管症候群、肘部管症候群等) を列挙し、その症候を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

★コアカリ：腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離・すべり

国試出題基準：

国試出題基準：中枢神経、末梢神経、神経損傷、腕神経叢麻痺、腋窩神経麻痺、橈骨神経麻痺、尺骨神経麻痺、正中神経麻痺、坐骨神経麻痺、腓骨神経麻痺、neurapraxia、axonotmesis、neurotmesis、Waller 変性、Tinel 徴候、徒手筋力検査、神経伝導速度、針筋電図、下垂手、鷲手、Froment 徴候、猿手、Phalen テスト、下垂足

教科書：

◆ 標準整形外科学 第 13 版 p. 75-83、p856-872

予習：

予習：キーワードについて調べる (20 分)

復習：

復習：神経の外傷について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 24：脊椎疾患（1）頸胸椎の疾患

日時：5 月 21 日（火） 4 時限

担当者：釘宮 典孝(整形外科・脊椎外科)

内容：

代表的な頸胸椎の疾患について知る。

1. ★D-4-1-3 脊柱の構成と機能を説明できる。
2. ★D-4-1-4 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。
3. ★D-4-1-7 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。
4. ★D-4-1-8 抗重力筋を説明できる。
5. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。
6. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。
7. ★D-4-3-1 運動麻痺・筋力低下
8. ★D-4-3-3 腰背部痛
9. ★D-4-4-1-1 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。
10. ★D-4-4-1-9 頸椎症性脊髄症（脊柱靱帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。
11. ★D-4-4-1-10 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。
12. ★D-4-4-1-14 運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。
13. ★D-4-4-2-2 椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。
14. 斜頸、Klippel-Feil 症候群、側弯症、後弯症＜円背＞について機序と合併症について概説できる。

キーワード：

★コアカリ：

★コアカリ：脊髄症

国試出題基準：

国試出題基準：椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊髄症、神経根症、後縦靱帯骨化症、脊柱管狭窄症、脊椎分離すべり症、結核性脊椎炎、化膿性脊椎炎、脊椎腫瘍、脊髄腫瘍

教科書：

◆ 標準整形外科第 14 版 p505-p533, p539-p552, p573-p589

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：頸胸椎の疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 25：脊椎疾患（2）腰椎の疾患

日時：5 月 21 日（火） 5 時限

担当者：税田 和夫(総セ 整形外科)

内容：

代表的な腰椎の疾患について知る。

1. ★D-4-1-3 脊柱の構成と機能を説明できる。
2. ★D-4-1-4 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。
3. ★D-4-1-7 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。

4. ★D-4-1-8 抗重力筋を説明できる。
5. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。
6. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。
7. ★D-4-3-1 運動麻痺・筋力低下
8. ★D-4-3-3 腰背部痛
9. ★D-4-4-1-1 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。
10. ★D-4-4-1-5 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。
11. ★D-4-4-1-10 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。
12. ★D-4-4-1-11 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。
13. ★D-4-4-1-12 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。
14. ★D-4-4-1-13 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。
15. ★D-4-4-1-14 運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。
16. ★D-4-4-2-2 椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。
17. ★D-4-4-3-2 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。
18. 腰痛症について病因病態と診断治療を概説できる。
19. 脊椎腫瘍、脊髄腫瘍について病因、病態と診断治療を概説できる。

キーワード：

★コアカリ：

★コアカリ：腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離・すべり症

国試出題基準：

国試出題基準：腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離症、腰椎すべり症、黄色靱帯骨化症、化膿性脊椎炎、腰痛症、脊椎腫瘍、脊髄腫瘍

教科書：

◆ 標準整形外科第13版 p532、p545-p579

予習：

予習：キーワードについて調べる（20分）

復習：

復習：腰椎の疾患についてA4半ページから1ページ以内でまとめる（20分）

皮運26：脊椎疾患（3）側彎症、脊椎外傷

日時：5月28日（火） 1時限

担当者：鳥尾 哲矢（整形外科・脊椎外科）

内容：

脊椎の外傷と側彎症について知る。

1. ★D-4-1-3 脊柱の構成と機能を説明できる。
2. ★D-4-1-4 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。
3. ★D-4-1-8 抗重力筋を説明できる。
4. ★D-4-4-1-1 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。
5. ★D-4-4-1-10 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。
6. ★D-4-4-1-15 脊髄損傷のリハビリテーションを概説できる。
7. 特発性脊柱側弯症の病態、診断と治療を説明できる。
8. 小児脊柱後弯を来す疾患（先天性後弯症、Scheuermann病）を列記できる。

キーワード：

★コアカリ：

★コアカリ：特発性側弯症、四肢・脊椎外傷、脊髄損傷

国試出題基準：

国試出題基準：脊椎脱臼骨折、頸髄損傷、胸髄損傷、腰髄損傷、特発性側弯症、rib hump、Risser sign、前屈テスト、Cobb 角、Marfan 症候群、脊髄空洞症、Chiari 奇形、先天性側弯症、症候性側弯症、

教科書：

◆ 標準整形外科第 14 版 p544-550, p552, p555, p523, p841-861

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：脊椎の外傷と側弯症について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 27：上肢の外傷 2（肩関節を除く上肢）

日時：5 月 28 日（火） 2 時限

担当者：上原 浩介(整形外科・脊椎外科)

内容：

上肢の外傷と代表的な手外科疾患について知る。

1. ★D-4-4-1-8 絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。
2. ★D-4-4-1-3 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。
3. ★D-4-4-1-6 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。
4. 手指屈筋腱損傷について説明できる。
5. 関節リウマチの伸筋腱皮下断裂について説明できる。
6. Dupuytren（デュプイトラン）拘縮について説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

手根管症候群、肘部管症候群、舟状骨骨折、橈骨遠位端骨折、Monteggia（モンテジア）骨折、上腕骨顆上骨折、屈筋腱鞘炎、De Quervain(ド・ケルバン)病、屈筋腱損傷、伸筋腱損傷（皮下断裂）、Dupuytren（デュプイトラン）拘縮

教科書：

◆ 標準整形外科学第 14 版

参考書：

◆ 医学書院標準整形外科第 14 版（肘関節 451～467、手関節と手 468～501、骨折・脱臼 772-840）

予習：

キーワードの項目について教科書を読む（索引利用）（20 分）

復習：

キーワードの項目について授業を参考にしつつ要点をまとめる。（20 分）

皮運 28：下肢の外傷

日時：6 月 4 日（火） 3 時限

担当者：杉田 直樹(整形外科・脊椎外科)

内容：

代表的な下肢の外傷について知る。

1. 骨盤骨折について説明できる
2. 股関節脱臼について説明できる
3. 大腿骨近位部骨折の受傷機序、治療法、合併症について説明できる
4. 大腿骨骨幹部骨折について説明できる

5. 膝蓋骨骨折について説明できる
6. 膝蓋骨脱臼について説明できる
7. 半月・靱帯損傷の受傷機転、治療法について説明できる
8. 離断性骨軟骨炎について説明できる
9. Osgood-Schlatter 病について説明できる
10. 脛骨骨折について説明できる
11. 疲労骨折について説明できる
12. コンパートメント症候群の病態、診断、治療法について説明できる
13. 距骨骨折について説明できる
14. 踵骨骨折について説明できる
15. 足関節捻挫について説明できる
16. アキレス腱断裂について説明できる

キーワード：

国試出題基準：

国試出題基準：骨盤裂離骨折、外傷性股関節脱臼、Malgaigne 骨折、大腿骨近位部骨折、大腿骨骨幹部骨折、膝蓋骨骨折、膝蓋骨脱臼、靱帯・半月損傷、下腿骨骨幹部骨折、疲労骨折、前脛骨筋症候群、足関節骨折、足関節捻挫・靱帯損傷、距骨骨折、踵骨骨折、Bohler 角、アキレス腱断裂、Thompson テスト

教科書：

◆ 標準整形外科第 15 版

予習：

1. 大腿骨近位部骨折(第 15 版 p825-828)、2. コンパートメント (区画) 症候群(第 15 版 p788-789) について調べる (20 分)

復習：

1. 大腿骨近位部骨折の分類、レントゲン所見、合併症および治療法、2. コンパートメント症候群の原因、症状および治療法 について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる (20 分)

皮運 29：骨・軟部腫瘍（1）総論

日時：6 月 6 日（木） 2 時限

担当者：鳥越 知明(国セ 骨軟部腫瘍科)

内容：

骨軟部腫瘍・腫瘍類似疾患を総合的に理解する。

1. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞）の適応を概説できる。
2. ★D-4-4-3-1 原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing 肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。
3. ★D-4-4-3-2 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。
4. ★D-4-4-3-3 悪性軟部腫瘍の診断、病理所見、治療を概説できる。

キーワード：

国試出題基準：

国試出題基準：骨肉腫、Ewing 肉腫、転移性骨腫瘍、骨軟骨腫症、線維性骨異形成、類骨骨腫、骨巨細胞腫、脂肪肉腫、滑膜肉腫

教科書：

◆ 標準整形外科学第 14 版

参考書：

◆ 骨・軟部腫瘍-臨床・画像・病理 診断と治療社 改訂第 2 版 (2015/9/29)

予習：

予習：キーワードについて調べる (60 分)

復習：

復習：骨軟部腫瘍総論について A4 サイズ 1 ページでまとめる（60 分）

皮運 30：骨・軟部腫瘍（2）各論

日時：6 月 6 日（木） 3 時限

担当者：鳥越 知明（国セ 骨軟部腫瘍科）

内容：

代表的骨軟部腫瘍・腫瘍類似疾患を理解する。

1. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞）の適応を概説できる。
2. ★D-4-4-3-1 原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing 肉腫、骨巨細胞腫、類骨骨腫など）の臨床所見、画像所見、病理所見、治療を説明できる。
3. ★D-4-4-3-2 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見、治療を説明できる。
4. ★D-4-4-3-3 悪性軟部腫瘍（未分化多形肉腫、脂肪肉腫、横紋筋肉腫、滑膜肉腫など）の臨床所見、画像所見、病理所見、治療を説明できる。
5. 腫瘍類似性疾患（骨軟骨腫症、線維性骨異形成、非骨化性線維腫、ランゲルハンス細胞組織球症、単発性骨嚢腫）について説明できる。
6. 良性軟部腫瘍（血管腫、脂肪腫など）について説明できる。

キーワード：

ユニット：

ユニット：骨軟部腫瘍

★コアカリ：

★コアカリ：骨肉腫、Ewing 肉腫、転移性骨腫瘍、未分化多形肉腫、脂肪肉腫

国試出題基準：

国試出題基準：骨肉腫、Ewing 肉腫、骨巨細胞腫、類骨骨腫、骨軟骨腫症、線維性骨異形成、ランゲルハンス細胞組織球症、単発性骨嚢腫、転移性骨腫瘍、未分化多形肉腫、脂肪肉腫、横紋筋肉腫、滑膜肉腫、血管腫、脂肪腫

教科書：

◆ 標準整形外科学第 14 版 p340-p389

参考書：

◆ 骨・軟部腫瘍-臨床・画像・病理 診断と治療社 改訂第 2 版（2015/9/29）

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：骨軟部腫瘍各論について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 31：骨系統疾患と小児整形外科

日時：6 月 7 日（金） 5 時限

担当者：渡會 恵介（整形外科・脊椎外科）

内容：

骨系統疾患の病態について知る。

小児が罹患する整形外科疾患について知る。

1. ★D-4-1-5 骨盤の構成と性差を説明できる。
2. ★D-4-1-6 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。
3. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。

4. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。
5. ★D-4-4-1-2 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。

キーワード：

国試出題基準：

国試出題基準：発育性股関節形成不全、先天性股関節脱臼、リーメンビューゲル、Perthes 病、大腿骨頭すべり症、単純性股関節炎、乳児化膿性股関節炎、先天性内反足、Osgood-Schlatter 病、Osgood-Schlatter 病、半月板障害、膝蓋軟骨軟化症、変形性膝関節症、外反膝、内反膝、反張膝、先天性下腿偽関節、内反足、膜性骨化、低身長（四肢短縮型、体幹短縮型）

教科書：

◆ 標準整形外科学第 14 版 p294-339、p604-p620、p697-p703、p517-522

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：骨系統疾患と小児整形外科について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 32：炎症性疾患（関節リウマチ、強直性脊椎炎）

日時：6 月 10 日（月） 5 時限

担当者：門野 夕峰（整形外科・脊椎外科）

内容：

関節リウマチと類縁疾患について知る。

1. ★D-4-2-2 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影＜CT＞、磁気共鳴画像法＜MRI＞、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。
2. ★D-4-3-2 関節痛・関節腫脹
3. ★D-4-4-1-6 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。
4. 関節リウマチについて病因、病態、主たる検査所見、診断、治療を概説できる。
5. 強直性脊椎炎について病因、病態、主たる検査所見、診断、治療を概説できる。
6. 乾癬性関節炎について病因、病態、主たる検査所見、診断、治療を概説できる。

キーワード：

★コアカリ：

★コアカリ：関節痛・関節腫脹

国試出題基準：

国試出題基準：関節リウマチ、強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、神経病性関節症、血友病性関節症について病因滑膜炎、付着部炎、外反母趾、人工関節置換術

教科書：

◆ 標準整形外科学 第 14 版 p239-265

参考書：

◆ リウマチ病学テキスト第 2 版 p116-122、p152-164

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：関節リウマチと類縁疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 33：代謝性骨疾患（骨粗鬆症、骨軟化症）

日時：6 月 10 日（月） 6 時限

担当者：宮島 剛（整形外科・脊椎外科）

内容：

骨粗鬆症について知る。

1. ★D-4-1-6 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。
2. ★D-4-3-3 腰背部痛
3. ★D-4-4-1-5 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。
4. 大理石骨病、くる病、骨軟化症、骨 Paget 病について病態、診断、治療法を概説できる。

キーワード：

国試出題基準：

国試出題基準：骨吸収、骨形成、骨代謝回転、原発性骨粗鬆症、続発性骨粗鬆症、骨粗鬆症治療薬

教科書：

- ◆ 標準整形外科学第 14 版、P320-339

参考書：

- ◆ 指定なし

予習：

予習：キーワードについて調べる（20 分）

復習：

復習：骨粗鬆症について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

皮運 34：＜病理＞ 骨・軟部組織

日時：6 月 20 日（木） 2 時限

担当者：金 玲(病理学)

内容：

骨・軟部組織の腫瘍，および非腫瘍性疾患を病理学的な視点から理解する。

1. ★D-4-1-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。
2. ★D-4-1-2 頭頸部の構成を説明できる。
3. ★D-4-1-3 脊柱の構成と機能を説明できる。
4. 肉腫、Ewing 肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。
5. ★D-4-4-3-3 悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。
6. 間葉系細胞と上皮系細胞の違いについて説明できる。
7. 間葉系細胞の細胞分化について説明できる。
8. 骨・軟部腫瘍の組織型はどのような視点から分類されているかを説明できる。
9. 代表的な骨・軟部組織の腫瘍性/非腫瘍性疾患の病理学的な特徴を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

★コアカリ：骨腫瘍，軟部腫瘍，細胞分化，非腫瘍疾患

国試出題基準：

国試出題基準：骨肉腫、Ewing 肉腫、骨巨細胞腫、類骨骨腫、線維性骨異形成、ランゲルハンス細胞組織球症、単発性骨嚢腫、転移性骨腫瘍、未分化多形肉腫、脂肪肉腫、横紋筋肉腫、滑膜肉腫、血管腫、脂肪腫

教科書：

- ◆ 井樋栄二，吉川秀樹，津村弘，田中栄，高木理彰（編）：標準整形外科学 第 14 版（医学書院、2020）

参考書：

- ◆ 野島孝之，小田義直（編）：腫瘍病理鑑別診断アトラス 骨腫瘍（文光堂、2016）
- ◆ 石田剛：骨腫瘍の病理（文光堂、2012）
- ◆ 小田義直（編）：癌診療指針のための病理診断プラクティス 骨・軟部腫瘍（中山書店、2013）
- ◆ 石田剛，今村哲夫：非腫瘍性骨関節疾患の病理（文光堂、2003）

◆ Bogdan Czerniak: Dorfman and Czerniaks Bone Tumors 2nd Edition (Elsevier, 2015)

予習：

予習：骨・軟部腫瘍の病理診断では，発症年齢や発生部位，そして腫瘍特異的な遺伝子異常の有無が，しばしば確定診断に大きな役割を果たすことを念頭に置く。キーワードについて調べる（20分）

復習：

復習：講義の中で，とくに興味を持った疾患については，上記の教科書・参考書の該当する領域を精読する。（20分）

皮運 35：リハビリテーション医学・総論 1（リハビリテーション医学の概念、障害の評価と治療）

日時：6月17日（月） 4時限

担当者：倉林 均（リハビリテーション科）

内容：

1. F-2-14) リハビリテーションの理念、定義、歴史を学習する。
2. F-2-14) WHO 国際障害分類 ICDH と生活機能評価 ICF を学習する。
3. F-2-14) 日常生活動作（ADL）と手段的日常生活動作（IADL）を学習する。
4. F-2-14) 理学療法、作業療法、言語療法の概要を学習する。
5. D-4-4)-(1) 運動器疾患などのリハビリテーションを学習する。
6. F-1-19) 嚥下障害の診断と評価を学習する。

キーワード：

ユニット：

国際障害分類 ICDH，国際生活機能分類 ICF，日常生活動作（ADL），手段的日常生活動作（IADL），理学療法，作業療法，言語聴覚療法，嚥下障害，高次脳機能障害，ノーマライゼーション

★コアカリ：

運動器疾患、リハビリテーション

国試出題基準：

リハビリテーションの概念、リハビリテーションの技術，身体障害のリハビリテーション，生活機能評価（ICF），日常生活活動（ADL），手段的日常生活動作（IADL），機能障害，理学療法，作業療法，言語聴覚療法，嚥下障害

参考書：

◆ 現代リハビリテーション医学 第4（金原出版） p1-22, 181-188, 205-241, 298-313, 516-522

備考：

該当項目を教科書で予習しておくこと。

予習：

予習：キーワードについて調べる（20分）

皮運 36：リハビリテーション医学・総論 2（リハビリテーション診断に必要な診察と検査）

日時：6月17日（月） 5時限

担当者：藤本 幹雄（総セ リハビリテーション科）

内容：

1. ★D-4-3-1 運動麻痺・筋力低下
2. ★D-4-4-1-15 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。
3. リハビリテーション診断に必要な徒手筋力検査（MMT）を概説できる。
4. リハビリテーション診断に必要な腱反射・病的反射を概説できる。
5. リハビリテーション診断に必要な筋電図・神経伝導検査を概説できる。
6. リハビリテーション診断に必要な脳血管障害・頭部外傷の画像診断を概説できる。

7. リハビリテーション診断に必要な神経心理検査（知能検査：WAIS, MMSE, 失語：SLT, 記憶検査, 前頭葉機能検査）を概説できる。

キーワード：

ユニット：

ユニット：徒手筋力検査（MMT）、腱反射、病的反射、筋電図・神経伝導検査、頭部MRI・CT画像、脳血管障害、頭部外傷、脳挫傷、びまん性軸索損傷、WAIS, MMSE, SLT, 記憶検査、前頭葉機能検査

★コアカリ：

★コアカリ：運動器疾患、リハビリテーション

国試出題基準：

国試出題基準：徒手筋力検査（MMT）、腱反射、病的反射、筋電図・神経伝導検査、WAIS, MMSE, SLT, 記憶検査、前頭葉機能検査、脳血管障害、頭部外傷、脳挫傷、びまん性軸索損傷

予習：

予習：キーワードについて調べる（20分）

現代リハビリテーション医学改訂第4版（金原出版） p83-p90, p51-p63, p72-p82. p219-p259, そのほかOSCEのMMT, 反射についても勉強しておくといよい。

皮運 37：リハビリテーションと運動生理

日時：6月18日（火） 3時限

担当者：田中 尚文(国セ リハビリテーション科)

内容：

全身持久力と筋力

1. 人体のATP産生系について説明できる。
2. 呼吸・循環・骨格筋の関係について説明できる。
3. 有酸素運動を用いる理由について列挙できる。
4. 酸素摂取量について説明できる。
5. 骨格筋線維の分類と特性について説明できる。
6. 筋収縮の分類について説明できる。
7. 筋力増強訓練について説明できる。

キーワード：

ユニット：

エネルギー供給系、最大酸素摂取量、最大心拍数、赤筋、白筋、速筋、遅筋、等張性収縮、等尺性収縮、伸張性収縮、最大筋力、筋萎縮、神経系の改善と筋肥大

★コアカリ：

運動器疾患、リハビリテーション

国試出題基準：

運動生理、筋力増強訓練、生活習慣病

参考書：

◆ 入門運動生理学(杏林書院)の1章から6章

最新 リハビリテーション医学 第3版 医歯薬出版株式会社 p330-336

予習：

骨格筋におけるATPの産生について調べておく（20分）

皮運 38：運動器疾患のリハビリテーション

日時：6月18日（火） 4時限

担当者：篠田 裕介(リハビリテーション科)

内容：

1. ★D-4-2-1 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。
2. ★E-8-1-4 フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。
3. ★D-4-4-1-15 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。
4. ★F-2-14-7 主な歩行補助具、車椅子、義肢と装具を概説できる。

キーワード：

ユニット：

関節可動域検査、拘縮、強直、運動失調、痙縮、強剛、固縮、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症、歩行補助具

★コアカリ：

運動器疾患、加齢と老化、リハビリテーション

国試出題基準：

関節可動域、運動失調、錐体路徴候、痙縮、錐体外路徴候、強剛、固縮、関節拘縮、関節強直、良肢位、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイル、変形性関節症、骨折、福祉用具

参考書：

◆ 最新リハビリテーション医学 第3版 医歯薬出版株式会社 p94-102, 155-162, 188-193, 346-351, 376-380, 446-453

予習：

予習：キーワードについて調べる（20分）

上記教科書またはその他参考書で、該当分野について調べておく

皮運 39：外傷性脊髄損傷のリハビリテーション

日時：6月18日（火） 5時限

担当者：大林 茂（総セ リハビリテーション科）

内容：

脊髄損傷患者のリハビリテーション

1. 脊椎・脊髄の解剖について説明できる。
2. 脊髄損傷の障害像とその評価について説明できる。
3. 脊髄損傷のリハビリテーションについて説明できる。

キーワード：

ユニット：

key muscles, dermatome, ASIA, 膀胱直腸障害、自律神経障害、合併症、損傷レベルとADL, push up, 起上り・移乗動作訓練, ADL と自助具, 歩行訓練

★コアカリ：

運動器疾患、リハビリテーション

国試出題基準：

脊髄損傷

参考書：

◆ 現代リハビリテーション医学 第4版 金原出版 p378-392

予習：

ASIA のC5～TH1 の支配筋をあらかじめ勉強してください（20分）

皮運 40：小児のリハビリテーション

日時：6月19日（水） 5時限

担当者：高橋 秀寿（国セ リハビリテーション科）

内容：

小児のリハビリテーション

1. 脳性マヒの原因と分類、原始反射の手技と意義、について説明できる。
2. 小児の運動発達、言語発達について、説明できる。
3. 小児のリハビリテーションの概要を説明できる。

キーワード：

ユニット：

脳性マヒ、原始反射、運動発達、言語発達、小児のリハビリ

★コアカリ：

運動器疾患、リハビリテーション

国試出題基準：

原始反射と姿勢反射、脳性麻痺

参考書：

◆ 現代リハビリテーション 金原出版 第 4 版 p361-371

予習：

原始反射の手技についてあらかじめ教科書で勉強してください。(20 分)

皮運 41：形成外科学総論

日時：6 月 21 日（金） 4 時限

担当者：佐藤 智也(形成外科・美容外科)

内容：

1. 形成外科の治療概念、基本的な考え方について説明することができる。
2. 形成外科の基本的な用語を理解し、簡単に説明できる。
3. 形成外科が対象疾患とする基本的な疾患に関し、その病態と治療法を述べることができる。

キーワード：

ユニット：

埋没縫合、Z 形成術、W 形成術、マイクロサージャリー、craniofacial surgery, tissue expander, 美容外科、唇裂・口蓋裂、腫瘍、再建外科、free flap(遊離組織移植)

教科書：

◆ TEXT 形成外科 (株) 南山堂

参考書：

◆ TEXT 形成外科 (株) 南山堂

備考：

形成外科学総論の講義は形成外科担当個別項目講義の前の概要説明です。形成外科は馴染みが薄い分野だと思います。臨床写真のスライドを中心の講義を行いますので、形成外科がどんな内容の治療をしているか大まかに理解してもらう事が目標です。 気負わずに授業を受けてもらって大丈夫です。

予習：

キーワードを参考に指定教科書の当該ページを興味のある範囲で事前に目を通しておくとう理解が深まります (20 分)

皮運 42：形成外科で扱う小児先天疾患（頭蓋・顔面・四肢）

日時：6 月 21 日（金） 5 時限

担当者：時岡 一幸(形成外科・美容外科)

内容：

形成外科で扱う小児先天性疾患

1. 総論：形成外科で扱う先天疾患について説明できる。

2. 口唇裂・口蓋裂：発生，疫学，代表的な初回手術法について説明できる。
3. 頭蓋・顔面骨の先天性疾患：頭蓋顔面早期癒合症、小顎症などの症状について説明できる。
4. 耳介の先天疾患：耳介の発生，小耳症の手術法について説明できる。
5. 先天性の母斑：代表的な疾患の特徴、治療法などについて説明できる。

キーワード：

ユニット：

小児先天性疾患 口唇裂 口蓋裂 頭蓋顔面早期癒合症 小顎症 母斑 血管腫

教科書：

◆ 標準形成外科学

参考書：

◆ 標準皮膚科学

予習：

形成外科：総論の復習 皮膚科の講義（母斑、血管腫など）と一部重複する（20 分）

皮運 43：創傷治癒と難治性創傷

日時：6 月 24 日（月） 3 時限

担当者：市岡 滋（形成外科・美容外科）

内容：

1. 創傷治癒過程を説明できる。
2. 高齢化や生活習慣病の蔓延に伴い急増している褥瘡をはじめとした難治性創傷について説明できる。

キーワード：

ユニット：

褥瘡、潰瘍、急性創傷、慢性創傷、wound bed preparation, moist healing

教科書：

◆ 市岡滋著「創傷治癒の臨床」（金芳堂）

参考書：

◆ 「足の創傷といかに治すか」（克誠堂）

予習：

皮膚の構造を復習しておく（20 分）

皮運 44：外傷の初期治療，皮膚外科，熱傷

日時：6 月 26 日（水） 2 時限

担当者：大西 文夫（総セ 形成外科・美容外科）

内容：

1. 創傷と創傷治癒を説明できる。
2. 顔面骨骨折について説明できる。
3. 顔面の皮膚腫瘍について説明できる。
4. 熱傷の保存的・外科的治療を説明できる

キーワード：

ユニット：

創傷治癒過程、サイトカイン、顔面・眼窩骨、良性・悪性皮膚腫瘍、熱傷深達度、植皮術

教科書：

◆ 標準形成外科、TEXT 形成外科学

予習：

1. 皮運講義の創傷治癒を復習、
2. 顔面骨名5つを予習、
3. 皮膚腫瘍の具体的診断名を3つ以上、
4. 熱傷深達度Ⅰ度、Ⅱ度（浅達性・深達性）、Ⅲ度を確認（20分）

皮運 45：再建外科

日時：6月26日（水） 3時限

担当者：木村 武一郎(国セ 形成外科)

内容：

頭頸部、四肢、乳房などの機能的かつ審美的再建に果たす形成外科の役割

1. 皮弁の概念が理解できる。
2. 再建外科の現状、形成外科の基本手技が理解できる。
3. マイクロサージャリー(Microsurgery)について説明できる。

キーワード：

ユニット：

遊離植皮，有茎皮弁，局所皮弁，遊離皮弁，マイクロスージャリー、形態再建、機能再建

教科書：

◆ TEXT 形成外科学 改訂3版 南山堂

参考書：

◆ 標準形成外科学 医学書院

備考：

形成外科の手技が固形がん切除後の再建に大きな役割を果たしていることを理解してほしい。

予習：

形成外科の総論の講義で植皮・皮弁・遊離組織移植などの基本的概念をある程度理解していることが望ましい。（20分）